

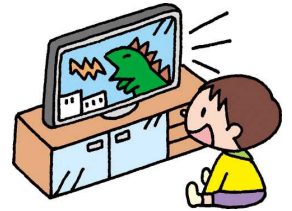


子育てコンシェルジュだより

富士宮市子育てコンシェルジュ (市役所子ども未来課子育て支援係内)

☎ 22-1146

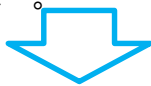
こんにちは、子育てコンシェルジュです。
最近、スマートフォンやDVD、電子ゲームなどが育児に使われるようになりましたが、赤ちゃんは本来テレビなどを見なくても遊ぶ力を持っているといわれています。小さいうちから一方的に見せられると、自分で遊びを考えることが苦手になってしまう場合があります。今回は、今の時代、切り離すことができないメディアとどうつき合っていけばよいかを一緒に考えて行きましょう。



ここでのメディアとは・・・
テレビ・DVD・携帯電話・
テレビゲーム・インターネット
などです。



乳幼児期は、見せておけば確かにおとなしくて楽ですよ～。



でもその結果!

- ・遊びの機会が減ってしまう(五感を使って)
- ・家族の会話、人とかかわりが減少
- ・戦いごっこなどのヒーローの真似をし、刺激が強くなる
- ・睡眠・食事の時間など生活リズムが乱れる など



子どもへの影響は?

- ・言葉の発達が遅い
- ・表情が乏しい
- ・視線が合わない
- ・じっとしていられない
- ・テレビを消すと嫌がる
- ・気持ちのコントロールがきかない (すぐに手が出る、きれる) などの症状が現れる場合があります。



【DVDを一人で長時間視聴していた3歳児の行動特徴】

- 1、友達関係が持てない
- 2、遊びが限られている。
- 3、表情が乏しい
- 4、気持ちが通じ合わない
- 5、見立て遊びができない
- 6、自分から話さない
- 7、ほかの子が近寄ると避ける
- 8、視線が合わない など



日本小児医師会からの提言

- 1、2歳までのテレビ・ビデオ視聴は控えましょう
- 2、授乳中、食事時のテレビ・ビデオ視聴はやめましょう
- 3、すべてのメディアへ接触する総時間を制限することが重要です。(1日2時間までを目安と考えます。テレビゲームは1日30分までを目安と考えます。)
- 4、子ども部屋にはテレビ、ビデオ、パソコンを置かないようにしましょう。
- 5、保護者と子どもでメディアを上手に利用するルールを作りましょう。

※参考文献 「子どもとメディアに」の問題に対する提言





ではテレビを消して(メディアを使わずに)何をすればいいの？



0～3歳ごろまでは、コミュニケーションの基礎ができる時期です。おしゃべりが上手になるまでは、直接ひとと関わることを中心にしましょう。



なんだっていいんです！家事の手を休めて一緒に遊んで、子育てを楽しみましょう。少し大きくなったらお手伝いごっこもいいですね。



家族も注意！

子どもに見せていなくても、お母さん、お父さんが夢中になっていることはありませんか？

赤ちゃんのサインに気づかずにいると、あきらめてサインを出さなくなり静かな赤ちゃんになってしまいます。

ゲームは赤ちゃんが寝てからにしましょう。



悪いのは「メディア漬け」であり、メディア全体が悪いものではありません。子どもたちが今後も増え続けるメディアと上手に付き合い利用していけるように、教えていくことが大切です。そのためにも2歳以下の子どもにテレビ・ビデオの視聴は必要ないと思います。ゲームデビューはできれば10歳以降(現実と仮想の違いをしっかりと理解してから)。携帯電話は善悪の判断がしっかりとできるようになってからがいいですね。

—子育てコンシェルジュから—

いつも子育てコンシェルジュだよりを読んでいただきありがとうございます。おかげ様で、今回で第8号となりました。子育て世代の皆様に向けて毎回楽しみながら作っています。

子育てコンシェルジュだよりは、保健センター、子育て支援センター、子育てサロンなどで配布しているほかに、市役所子ども未来課の通路の掲示コーナーにもバックナンバーとともに置いてあります。また、10月からは、中央図書館、西富士図書館、芝川図書館の児童コーナーにも置かせていただいています。(富士宮市ホームページにも掲載)

ぜひ、手に取ってご覧ください。

これからも、子育て情報やサービスなど、知りたい情報や相談事などがありましたらお気軽に声をかけて下さいね。

